

令和7年 第11回教育委員会（会議録）

令和7年11月19日（水）

午前9時30分～

坂祝町中央公民館 会議室

日程第1 開会

※教育長が開会を宣言する。

出席委員確認

教育委員	古田 博英
	兼松 悟
	原口 かおり
	安江 紫乃
教育長	渡辺 英哉
教育委員会事務局	教育課長 野口 友宏
	子ども課長 岩井 正義
	教育課主幹 前田 加代子
	教育課係長 林 伸孝

日程第2 前回教育委員会の確認

※教育課長が資料に基づいて報告をする。

日程第3 教育長、教育委員報告事項

教育長 私から2点お知らせさせていただきます。まず1点目は、子どもたちの様子を見て、次の段階へのステップアップできる段階へ来ているのではないかと感じています。11月7日の岐阜県市町村教育委員会連合会研究総会で県の堀教育長も話題にしていましたが、県知事が若者未来デザイン会議で坂祝中学校へ来て、子どもからの提言を聞いたり、一緒に給食を食べたりしました。提言では、大型ショッピングセンターに託児所を設けることや、喫茶店などで朝6時半からご飯が食べられるようにすること、フェスを開いて岐阜県ゆかりのアーティストを呼ぶことなどがあり、その提言の元となるテーマには人口減少がありました。県民の皆さんや外から来の方にも岐阜県に愛着や誇りをもってもらえた人口減少を防げるのではないかというものでした。子どもたちの大に対する態度がとても自然で、県知事が来たら普通は構えてしまうものだと思いますが、県知事に対して素朴な疑問なども出て、話をしておりました。子どもたちは小さな頃から周りの大人に大事にしてもらっており、いい思いをさせてもらっているため、大人に対して嫌な偏見をもっていないのだと思いました。子どもたちが最初の話し合いからさん参画できるかがステップアップのポイントで、10月23日の社会教育委員会でも同様の話題が

出ました。大人が全部御膳立てしてそこに子どもが来るだけではなく、子どもたちが自分でつくるというようにしていくためには、子どもたちの思いを聞くことが大切だと思います。大人が良かれと思ってやることが押し付けになってはいけません。大人の場に子どもたちも一緒に来て話し合いをしていくような、次のステップアップとなるとよいと思います。2点目ですが、中日本自動車短期大学を運営している神野学園が通信制の高校をつくりたいという動きをしています。坂祝中学校も含め、東海3県の他の中学校に対してアンケートも取るということですので、そういう動きがあるということを知っておいてください。

古田委員 大変よい天気の中、町民まつりが開催されました。自分が子どもの頃は産業文化祭という祭りでした。いろいろなイベントがあり、来たいと思う子どもたちは多いと思います。中学生は本日中間テストということで、その3日前に町民まつりがあったため、行きたい子がお母さんにダメと言われたという話も聞きました。勉強もスポーツもイベントも一生懸命やれる環境を作るのが大人の役割であり、子どもの立場を考えたスケジュールが組めるとよいと思いました。

教育長 町の年間行事が確定するほうが学校行事が決まるより早いので、学校側が合わせられるとよいと思います。

兼松委員 教育委員会連合会研究総会で、本巣市の発表がとてもよかったです。学びの原点は幼稚園にあるという内容で、学校の先生が幼稚園へ行ったり、幼稚園の先生が学校へ行ったりするということでした。自分は学校の先生がどんな人がいるかよく分からないという話をしたのですが、他の自治体の教育委員は、私たちはよく知っているということを言っていました。教育委員も市町村によっていろいろ違うと思いました。

教育長 教育委員さんに学校を見ていただく機会としては、コミュニティ・スクールの方で毎月のように学校を訪問できる機会がありますので、そこも活用していただけたらよいと思います。

安江委員 10月の終わりに福祉大会に参加しました。子どもたちの居場所を大切にしたい、子どもたちと地域の方の両方が心地よくいられる居場所を作れるような取り組みをしているというような話しが聞けて、とてもよかったです。先ほどの教育長の話の中で、中学生が知事に臆することなくしゃべれるという話しがありましたが、子どもたちの中にはうまく思いを伝えられない子もいるので、きちんと向き合って子どもたちの思いや意見を聞いてあげることを大事にしていきたいと思いました。子どもたちはいろんな思いをもって活動をしているので、大人がそれを引き出してあげられる場所を提供できるとよいと思います。11月の教育委員会連合会研究総会では、大きな自治体や小さな自治体がありますが、どの自治体もいろいろな課題を抱えていることを知り

ました。大きな自治体はいろんな人の話を聞いてあげることが課題であったり、小さな自治体は人口減少に対する課題があつたりとのことでした。いろいろな課題に対して取り組んで解決していくべきと思いました。

原口委員 教育委員会連合会研究総会ではふるさとふれあい学習という分科会に出ました。坂祝でもそうですが、地元で一生を過ごす方は限られた割合しかいなくて、子どもは生まれ育ったところがふるさとですが、他県から来た方にどうやってふるさとを感じてもらうか、他県から来た親に、子どもに「ここがふるさとだ」と伝えるのが難しいと思いました。子どもたちの心に残るイベントを行うことも、大人になってからふるさととして思い出してもらえることだと思います。町民まつりでは企業からの援助も必要という話しがありました。前はパジェロ製造のある坂祝と言っていましたが、今の坂祝のメインは何だろうと思いました。昨年はさかほぎ農場さんが会場の中央にありましたが、今年は端っこになっていて、さらにその奥に大王製紙さんがありました。一体、坂祝の推しの企業はどこなんだろうと思いました。インフルエンザが流行っており、昨日予防接種に行ってきました。学校の先生にはぜひ予防接種を受けていただきたいですが、補助はありますか。

教育主幹 公立学校共済組合から補助があります。

日程第4 議事

(付議事件)

議案第32号 坂祝町公民館条例の一部を改正する条例について

兼松委員 使用料は値上げだけで、値下げは無しですか。

教育課長 そうです。

兼松委員 ドームや東西館は企業の名前になっていますが使用料も企業がもらっているのですか。

教育課長 ネーミングライツで施設の名前が変わっているだけで、使用料については今までどおり町が収入しています。

議案第33号 坂祝町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

原口委員 バンビーニでは実施できないですか。

子ども課長 できないことはないですが、現状のバンビーニではアンブレラとつくんこ教室を行っていますのでそちらに注力したいです。遊々子ども園で実施できるということですので、そちらにお願いしたいと思っています。

議案第34号 令和7年度一般会計補正予算（第4号）について

(報告事件)

報告第33号 坂祝小学校の校外学習届出について

報告第34号 坂祝町教育委員会後援名義使用許可事業の終了報告について

※事務局から資料に基づいて説明をする。

日程第5 その他

○当面する教育関係諸行事について

○その他

※事務局から資料に基づいて説明をする。

日程第6 閉会

※教育長が閉会を宣言する。

閉会 午前10時38分